

まちの
スケッチブック

みんなの笑顔を支えたい!



I want to support the smile of all.

自由民主党・新緑会泉佐野市議員団

千代松 大耕

ちよまつひろやす

決算特別委員会／平成21年度決算の特徴
財政健全化比率／決算特別委員会における質問

市政報告
vol.71
(平成21年度決算)

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

読者の方々からは、「泉佐野市の状況がよくわかる。」
といった好評をいただいております。

千代松大耕メールマガジン

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス

<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。
*検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

携帯用メールマガジンを開設しています!



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左記のバーコードを携帯電話で読み取るか、

<http://mini.mag2.com/>

または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設しています

<http://plaza.rakuten.co.jp/chiyogiin/>

「かけはし」の開催

市政と市民の「かけはし」となるべく、毎月一度、市政勉強会「かけはし」を開催しています。開催回数は70回を超えました。基本的に第4木曜日の午後7時30分から午後8時30分まで泉の森ホール2F小会議室で開催しております。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は参加者の方々の意見交換やご質問にお答えします。どなた様のご参加もOKです。興味のある方は是非ともご参加ください。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

TEL.458-1708/FAX.464-9478

ホームページ: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール: chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計: 704,500部

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。

◆二時借入金利子支払い事業について

千代松:…年間を通じて二時借入金利子支払事業において2,000万円の不用額が出ている。これは予定していたより2,000万円利子を支払うのを安くできたということであるが、これについては会計上の何らかのテクニックを使ったのか?

答弁:…現在は市税の徴収率が良いので、6月以降の年度の前半部分は手持ちの資金で賄うことが出来ている。一番資金繰りが大変な年末や5月ごろには収支のチェックをこまめにおこない出来るだけ少ない金額で短期の借入をおこなっている。それを短期プライムレートの1.475%で借入が出来ているということが一番の要因である。

千代松:…市民サービスにおいて2,000万円を削減するために、かなりの事業をカットしなければならぬ。しかしながら資金の運用では、利子の支払いを抑えることによって額が大きい分だけかなりの効果額を今回のように出すことが出来る。これからもそういった点においては、引き続き注視していただきたい。

千代松大耕のプロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
 - 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
 - 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
 - 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
 - 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
 - 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
 - 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
 - 2005.3 和歌山大学大学院 修了
 - 1999.4 株式会社 畑場製作所 入社
 - 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
 - 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
 - 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選
 - 2010.5 泉佐野市議会議員4期目当選 (議会)
 - 2004.5 泉佐野市議会 第61代副議長
 - 2006.5 泉佐野市監査委員 (議会選出)
 - 2008.5 泉佐野市議会 第65代議長
- その他、厚生文教委員長、予算特別委員長、決算特別委員長、市町村合併検討委員長、行財政委員長などを歴任

「議会を傍聴しませんか?」

議員の主な仕事は「市政に市民の声を届ける」「市政のチェック」「市政への政策提言」の三つです。これらの仕事を果たすために、定例議会におきまして毎回、一般質問をしています。本会議場や委員会における質問は、議員の務めであるとともに、権利でもあります。議場は市役所5階にあります。どなた様も気軽に傍聴できますので興味のある方は是非ともお越しください。

(問合せ先) 泉佐野市議会事務局 072-463-3723

決算特別委員会

9月議会では、平成21年度の決算特別委員会が開かれました。地方自治体の会計年度は、4月1日～翌年の3月31日までです。その後2カ月間の出納閉鎖期間があり、6月議会で決算の速報値が出されてきます。その後監査委員の決算審査を受けて、議会で決算承認を求めてきます。今までは9月議会で「決算」関係の資料を配布し、決算特別委員会に付託をした後、11月に決算特別委員会が開かれていました。しかし今年から9月議会で決算特別委員会を開くことになりました。その決算特別委員会におきまして開始冒頭に委員長の互選があり、選考委員から「委員長」の指名を受けて、9月13日(月)～15日(水)までの3日間の決算特別委員会を委員長として進めさせていただきます。

地方自治体は「予算主義」の中、「予算」が「決算」より重視されてきたわけであり、しかし現在は全国の自治体がどこも厳しい中であつて限られた財源を、どのように使うのか、対費用効果はどうであつたのか、ということをよく検証していかなければなりません。そのような流れから「決算」を重視すべきだという声が上がっています。

議員として市民の方々に事業の必要性や対費用効果を十分に説明していかなければならない中で、私自身、「決算」は、ある意味「予算」よりも重要ではないかと考えています。

平成21年度決算の特徴

平成21年度、泉佐野市一般会計決算の目的別歳出は(表1)のとおりであります。決算の特徴といたしましては、総務費におきまして

収入で割つたものが「実質公債比率」、全て返さなければならぬ借金総額を1年間の収入額で割つたものが「将来負担比率」であります。これらを算出するには借金から色々な数値を差し引いたり、また収入についても差し引いたり複雑になっています。

この4つの指標全てが19年間をかけて早期健全化基準を下回るように財政健全化計画が作られています。例えば、計画期間を極端に短くするために単年度ごとに無理に借金を多く返すようなことをすると「実質公債比率」が早期健全化基準や再生基準を上回ってしまうという恐れも出てきます。(表2)のとおり泉佐野市は、平成21年度では「将来負担比率」のみが早期健全化基準を超えている状況です。

75億円もの大幅な増額となっており、これにつきましては、平成21年度中に景気対策としての国の事業である定額給付金事業がおこなわれたこと、何れも「まちスケ」で書かせていただいている短期借入でまわっていた宅地造成事業会計を廃止するために、長期借入として約66億円の第三セクター等改革推進債という借金をして宅地造成事業会計に繰出したからであります。民生費では生活保護費が約2億円増加するなど増額となっています。衛生費で約30億円の減額となっているのは、衛生費の中含まれる市立病院への繰出金が前年度の平成20年度中に特別に長期貸付金として25億円を繰出したものが、平成21年度には減額となってあらわれているからです。教育費では、第二小学校整備事業や第一小学校整備事業をおこなったために増額となりました。トータルとしては、600万円の黒字となり、4年連続の黒字決算となりました。

市民の方々の中には「泉佐野市は赤字額が大きい」と思われている方がおられます。し

かしながら泉佐野市は赤字額というのが決算上は存在しません。基金を取り崩したり、大阪府の貸付金を活用したりしていますが、決算上は黒字なのであります。泉佐野市の財政が苦しいのは単年度ごとの赤字があるわけではなく、積りに積もった借金の額が膨大であるからです。その元金と利子の返済額が大きいので、十分に他の市民サービスにまわすことが出来ていません。

財政健全化比率

また9月議会では、財政健全化法の施行によって新たに総務省が設けた地方自治体の財政状況を判断する4つの指標の泉佐野市における平成21年度の数値と、財政健全化計画の実施状況についての報告がありました。4つの指標は「財政健全化比率」といいます。地方自治体の本体の会計である普通会計にどれくらいの赤字額があるかという「実質赤字比率」、特別会計や事業会計なども含めてどれくらいの赤字額があるかという「連結実質赤字比率」という二つの指標があります。これらは単純に会計ごとの赤字額でありますので、算出は簡単であります。

表2 財政健全化比率の推移

年度	財政健全化比率	将来負担比率	実質公債比率	借入金返済額
平成19年度	-	39.31	16.9	405.5
平成20年度	-	26.42	18.4	393.5
平成21年度	-	-	19.6	372.5
早期健全化基準	12.36	17.36	25.0	350.0

この他に年度ごとに泉佐野市の収入に対してどれくらいの借金返済額があるかという「実質公債比率」、そして単年度の収入に対して、泉佐野市の借金の総額がどれくらい残っているかという「将来負担比率」といった指標があります。この二つの指標をはじき出すには、「ややこしい」計算が必要ですが、複雑です。簡単に表現しますと1年間に返す借金を1年間の

委員会進行上、委員長が質問をしたいときは、最後に質問をするという慣例があります。進行状況を考え、委員長が質問を遠慮するときもあるのですが、今回の決算特別委員会では、あまり遠慮せずに質問をしました。その質問内容を抜粋させていただきます。

◆留守家庭児童会について

千代松：留守家庭児童会において第一小学校、日根野小学校、中央小学校等は希望者が100人を超えている。日根野小学校においては、現在、日根野幼稚園跡地を利用しては、非常に老朽化が進み、施設が傷んできている。今回の日根野小学校の増築に合

わせて児童福祉課と教育総務課が連携すれば、施設を学校敷地内に新しく移せる方向性が見出せたのではないかと。

答弁：日根野幼稚園跡地は築60年を超えている。耐震の問題もあり、出来れば違う場所への移転をという希望も多い。教育委員会には「空き教室はないか？」と投げかけたが、児童数がまだまだ増えるということで学校施設内への移転は今見送りとなった。

千代松：教育委員会と児童福祉課が縦割り行政の垣根を越えて連携を深めていけば、経費的な部分については、色々と見直せるところが出てくるのではないかと考える。限られた財源の中で、住民ニーズをくみ上げていくには、庁内における横断的な行政が今以上に必要となってくるかと考える。

決算特別委員会における質問